

MOBILE SUIT VARIATION **MSV**



Mobile Suit Variations Model Series

1/144 Gelgoog (Johnny Ridden's)



<https://gunplastory.com/>



JOHNNY RIDDEN'S MS-14B GELGOOG
MOBILE SUIT GUNDAM / MOBILE SUIT VARIATION No.32 MS-14B GELGOOG



GUNDAM
機動戦士
MOBILE SUIT VARIATION
MSV 32
BANDAI



1/100 SCALE MODEL
JOHNNY RIDDEN'S MS-14B
1/100 比例のガンダム



MOBILE SUIT VARIATION

MS-14B

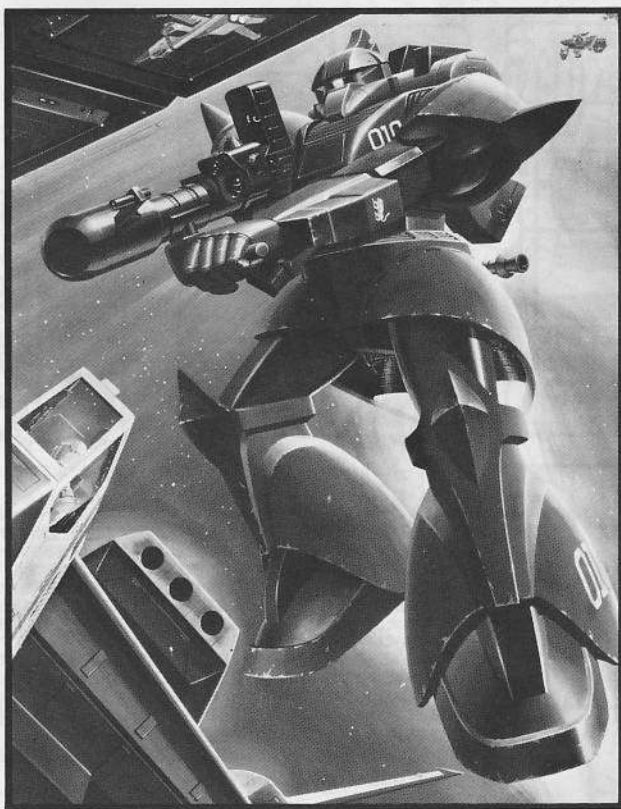
機動戦士

ガンダム

JOHNNY RIDDEN'S

GELGOOG

● MS-14Bゲルググ ジョニー・ライデン少佐機



1/144SCALE モビルスーツバリエーション

BAN
DAI

BANDAI



注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 接着剤は、閉めきった室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。

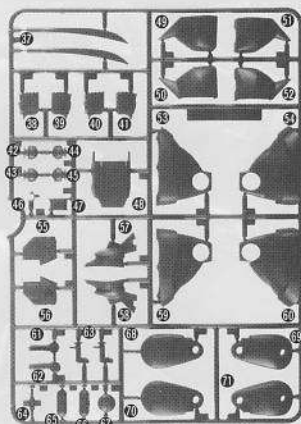
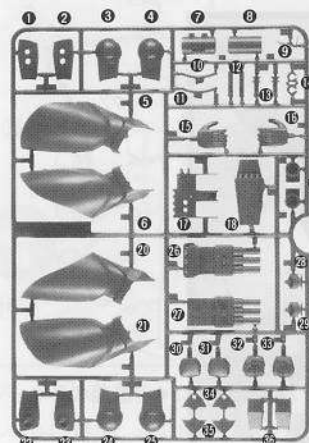
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気を付けて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 実線の矢印(→)は接着するところ、点線の矢印(---▶)は接着しないところ。接着するところは×印がついています。

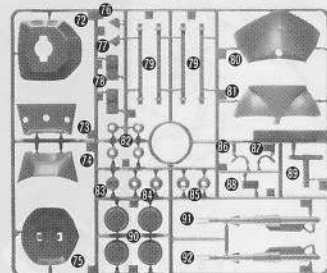
このキットには、接着剤は入っておりません。プラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。

部品図

★部品は番号をたしかめて、組み立てる順に切り取りましょう。



[使用材質]＜成形品＞(スチロール樹脂: PS)



●デカール……1

〈お買い上げのお客様へ〉部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号/番号/数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。なお、やむをえず部品注文カードをご使用できない場合には発送が遅れる場合がございます。ご了承ください。又、部品注文カードはコピー(拡大含む)での使用も可能です。代金は、部品代(1個40円×個数)+郵送料(120円)です。定額小為替は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に120円を超える時は不足分を請求、120円以下の時は残額をお返しいたします。また在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は送料とお送り頂いた代金(為替)を送いたします。但し、それ以外に掛かった手数料等は、お客様負担になりますので、ご了承の程何卒よろしくお願い致します。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは<http://bandai-hobby.net>より▶お客様へ

■部品注文「部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」の所をクリックしてください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL054-208-7520

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード 機動戦士ガンダム MSV ジョニーライデン機
1/144 MS-14B ゲルググ

08773

必要な部品の記号・番号・数量を書く

●注文された理由(○で囲む)(こわした・なくした)

R1008773

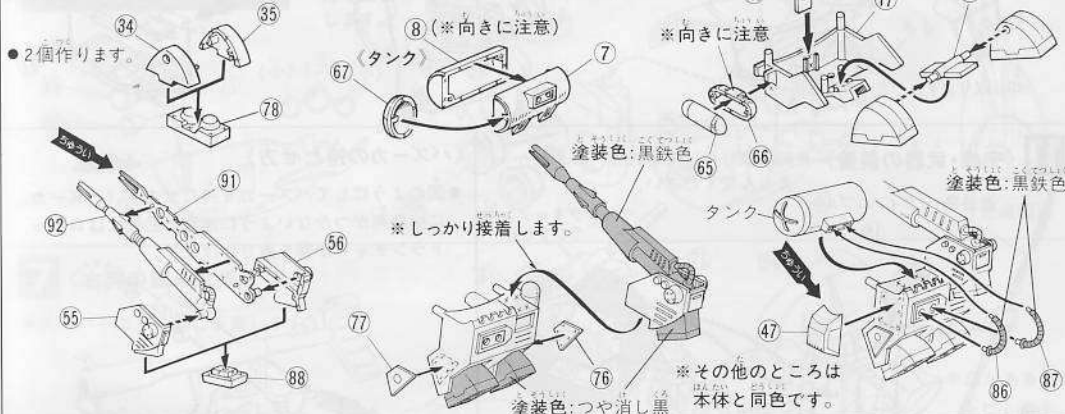
日中ご連絡可能な電話番号 ()

84.09

★このキットには、ランドセルと頭部の部品は、MS-14Cゲルググキャノン用と、MS-14Bゲルググ用の2種類の部品が入っておりますので、好みに応じて組み立ててください。ランドセルは組み立てた後、取りかえることができますが頭部は取りかえることができませんから、どちらか片方を選んでください。

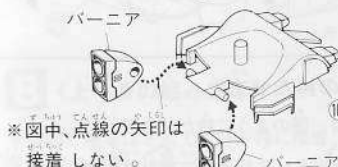
1 《ランドセルの組み立て》

MS-14Cゲルググキャノン用



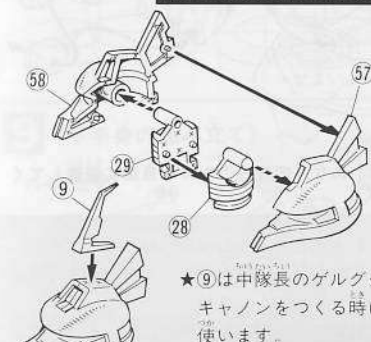
MS-14Bゲルググ用

●先にパーニアを2個作ります。

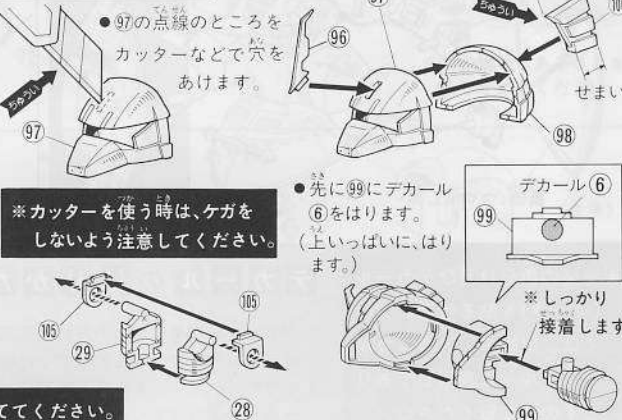


2 《頭部の組み立て》

MS-14Cゲルググキャノン用



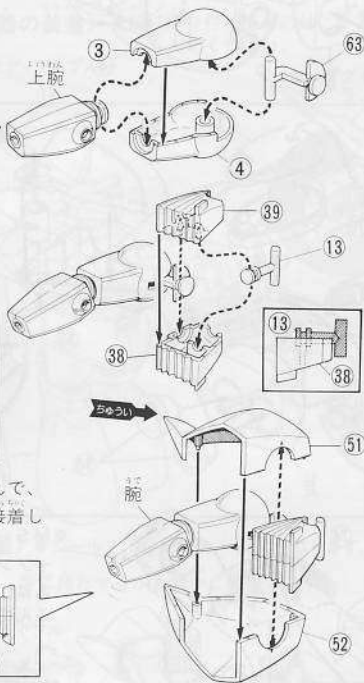
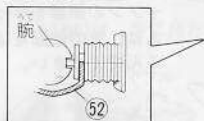
MS-14Bゲルググ用



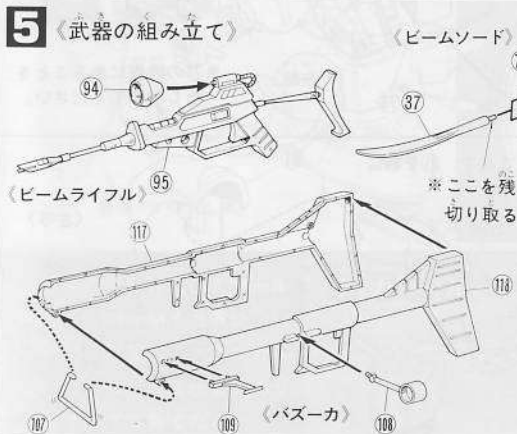
※各部品の向きをよくたしかめてから組み立ててください。



●腕をはさんで、
⑤1を⑤2に接着し
ます。

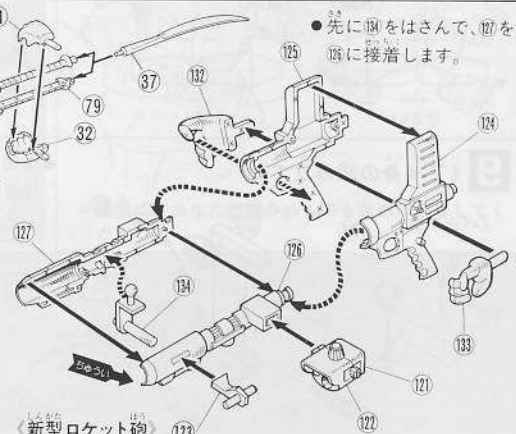
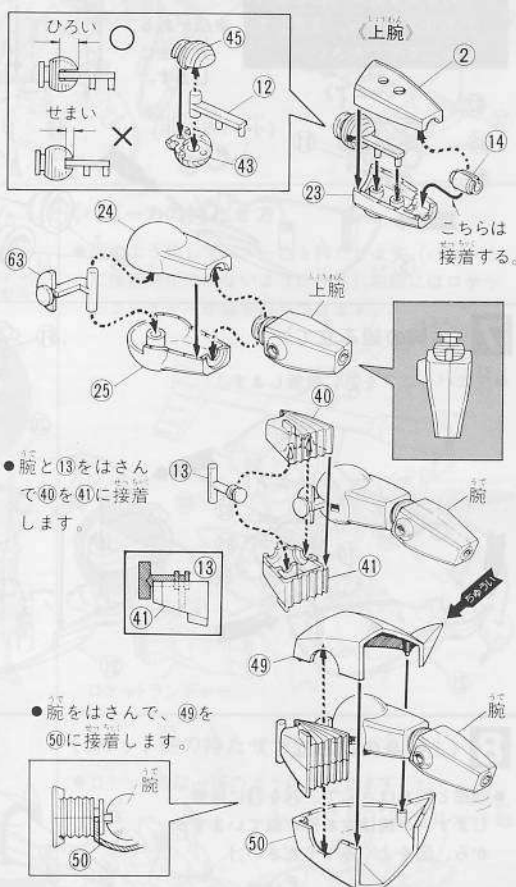


5 《武器の組み立て》



4 《左腕の組み立て》

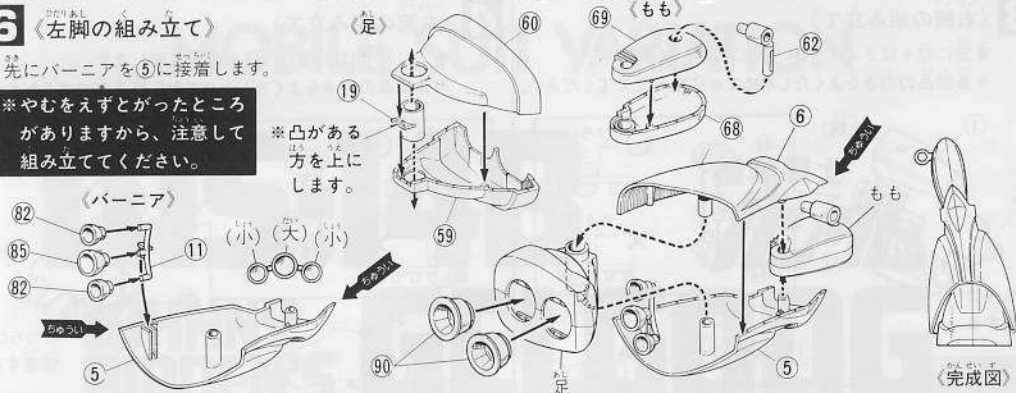
※各部品の向きをよくたしかめてから組み立ててください。



6 《左脚の組み立て》

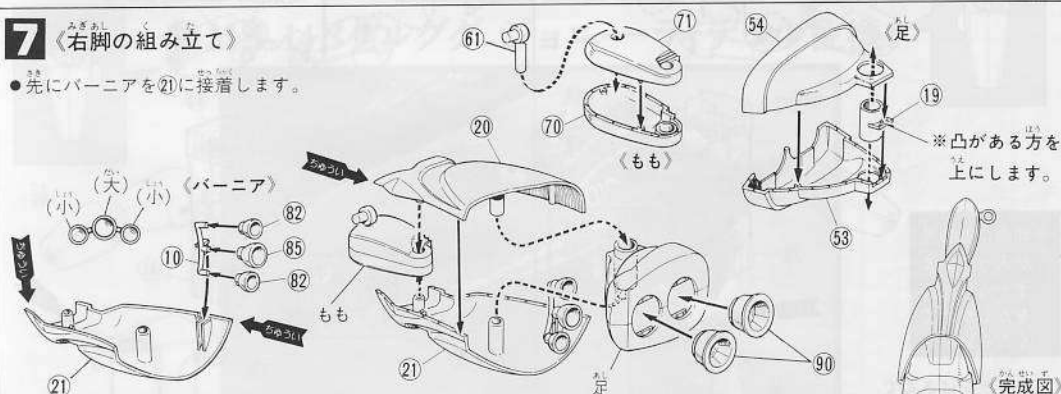
- 先にバーニアを⑤に接着します。

※やむをえずとがったところ
がありますから、注意して
組み立ててください。



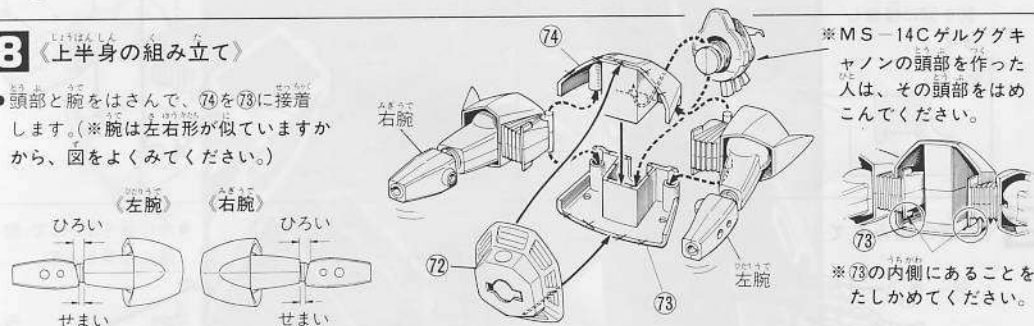
7 《右脚の組み立て》

- 先にバーニアを②①に接着します。



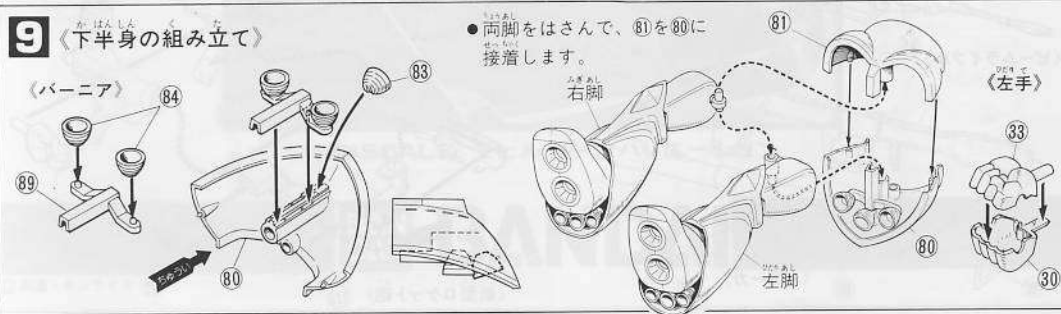
8 《上半身の組み立て》

- 頭部と腕をはさんで、⑦④を⑦③に接着
します。(※腕は左右形が似ていますか
ら、図をよくみてください。)

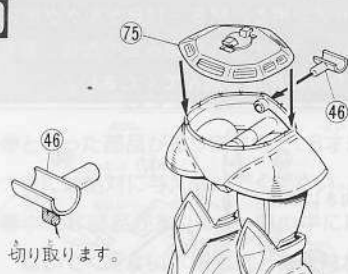


9 《下半身の組み立て》

- 両脚をはさんで、⑧①を⑧①に
接着します。

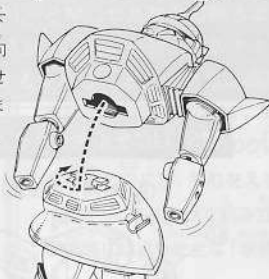


10

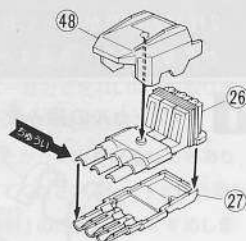


切り取ります。

- 上半身を下
半身に横
向きに合
わせ
右へ90度
まわ
します。



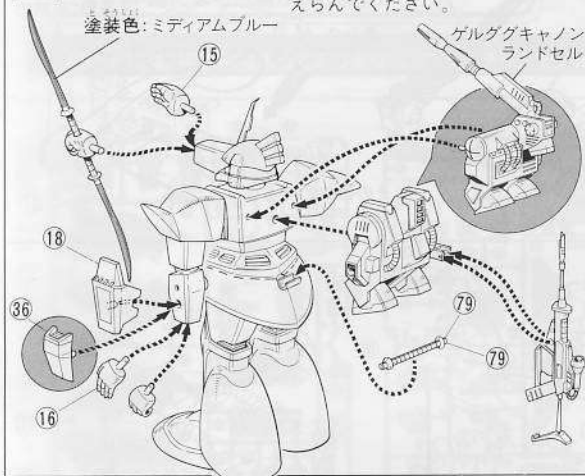
《ロケットランチャー》



11

- 《完成・武器の装着》 ●腕に取り付けるものは、いずれか
えらんでください。

塗装色：ミディアムブルー

ゲルググキャノン用
ランドセル

《バズーカの持たせ方》

- 図のようにしてバズーカを持たせます。(バズーカ
に接着剤がつかないように注意)。右腕にはロケッ
トランチャーが36を取りつけます。

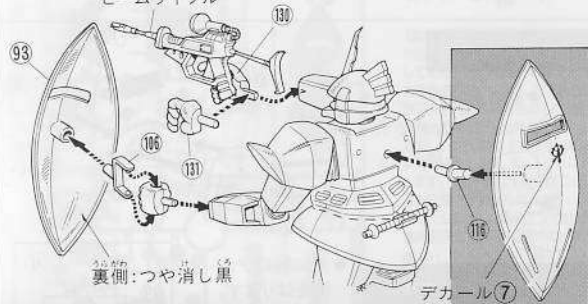


ロケットランチャー

《シールドの装着》 ●シールド(93)にデカール⑦をはります。

- シールド(93)は、手に持たせるか、背中中に装着します。

ビームライフル



裏側：つや消し黒

デカール⑦

《ロケット砲の持たせ方》

- ロケット砲は、図のように持たせます。



新型ロケット砲

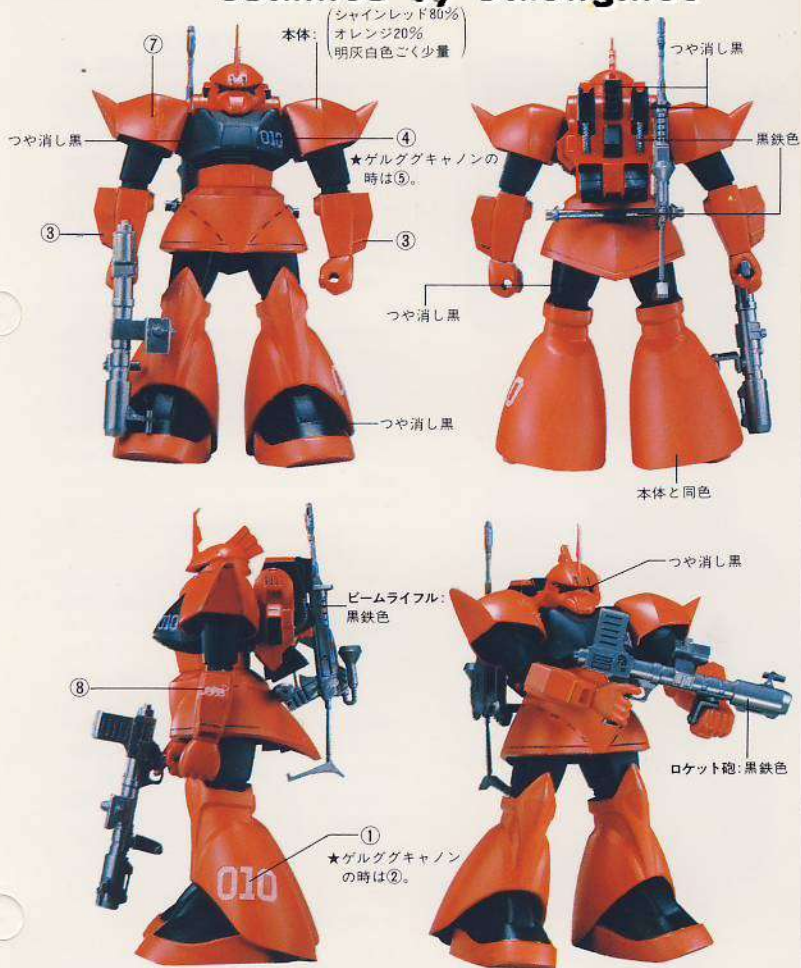
※武器は、あなたの好みのものを自由に装着してく
ださい。

★塗装の色分け及びデカール
(マーク)を貼る位置につ
いては、付属の『メカニカ
ルファイル』に表示してあ
りますのでご覧ください。

デカールのはりかた

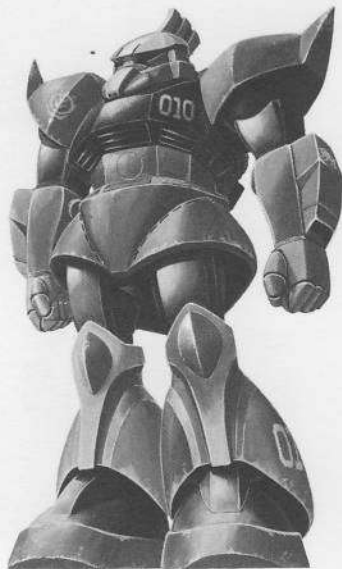
1. デカールを貼るところの汚れ、油気を、
ぬらした布でよくふきとってください。
2. 貼りたいデカールをハサミで切りとり、
水に5秒程つけて引き上げます。

3. 台紙からずらしながら貼ってください。
4. 貼ったあとは、デカールが乾くまでさわ
らないでください。
5. デカールが完全に乾いたら、もう一度水
でぬらした布でかるくデカールの部分を
ふいて、余分なりをふきとります。



■MS-14B GELGOOG JONNY RIDDEN'S [ジョニー・ライデン少佐機]

ジオン軍はMS-06R-2から得たデータにより次期主力モビルスーツMS-11の開発に着手した。MS-11の目差す性能は、連邦軍のRXスーツに見る性能を踏襲する所が大きい。そして第一の目標は、ビーム兵器の標準装備であった。MS-11は他の宇宙戦用特殊モビルスーツにナンバーを移すため、MS-14と名称変更された。YMS-14としての初期生産型の内24機がパイロットに応じたチューニングが施され、増速用ブースターとビームキャノンバックが用意された。前者は高機動型MS-14Bとして、後者は重火器支援型MS-14Cとして限定数で承認された。



▲設定イラスト

MS-06を継承する第2期主力モビルスーツとして開発がすすめられたのは、MS-11であった。宇宙戦での急場しのぎには、MS-09の改造型MS-R09通称リックドムが採用されたが、その競争者であったMS-06R-2は、総合性能においてMS-R09に一步譲ったものの高い評価を得た。そのため、MS-11の開発にあたっての基本的データは、MS-06R-2から得たものである。

MS-11の名差す性能は、連邦軍のRXタイプに見る所が実に大きい。その第一の目標は、ビーム兵器の標準装備化であった。ジオン軍は、連邦軍のRXタイプモビルスーツが、巡洋艦の主砲クラスのビーム砲を標準装備していた事に脅威を感じ、これに対処するため開発を急いだが、さすがのジオン軍もこれには多大な時間を費し、機体完成より約3ヵ月も遅れて完成を見たのである。〈MS-11というナンバーは、宇宙戦用特殊MSにナンバーを移すため、MS-14となる。〉

ジオン軍はニュータイプパイロットの明確化に伴い、少数精鋭により最大限の戦果を得るため、エース部隊の編成を計画した。この計画を具現化するため、完成したMS-14の初期生産型2機にパイロットに応じたチューニングが施された。このチューニングには、増速用ブースターとビームキャノンパックがあり、前者が高機動型MS-14Bであり、後者が重火器支援型MS-14Cである。この2タイプは限定数として承認され、生産された。

召喚されたエースパイロット31名は、旗艦「キマイラ」(ザンジバル級)を中心に、主にコレヒドールの暗礁空域で実動テストを繰り返した。その中にはジョニー＝ライデン少佐をはじめとして、トーマス＝クルツ中尉、J＝サカイ大尉がいた。中でも赤と黒に塗り分けられたジョニー＝ライデンのMS-14Bの活躍は目覚しかった。

●キットデータ ■商品名/MS-14Bゲルググ
ジョニー＝ライデン少佐機 ■スケール/1/144
■全高/133mm ■価格/800円 ■発売/昭和59
年9月 ■ボックスアーティスト/石橋謙一 ■KIT
No.0501358